

御室八十八ヶ所巡礼の色絵図

この手書きのカラー地図は、御室八十八ヶ所巡礼が開かれる以前の、1820 年代の仁和寺裏の丘陵風景を描いたものです。四国八十八ヶ所巡礼を小さくした御室巡礼が造られる以前は、現在はまとめて成就山と呼ばれている丘々が、それぞれに名前を持っていたことがわかります。この地図は、仁和寺が御室巡礼の建設の許しを国に求めた際に、参考資料として作成・提出されたものです。黄色の四角は、参道沿いにある 88 のお堂の場所を示していると考えられ、青色の四角は、建設中に掘られた 2 つの池を表しています。仁和寺の申請は承認され、御室八十八ヶ所巡礼は 1827 年に開山しました。年月を重ねるにつれ参道は変遷を遂げ、1830 年の大震災後には大規模な修復や再建も行われましたが、それでも現在の巡礼路は、この地図で描かれている基本的な姿を保っています。